

市議会
6月定例会
行政報告

今後さらに協議検討 『加州立大学機構大館校』

市議会六月定例会が招集された六月七日、島山市長が行政報告を行いました。その中から主なものをお伝えします。
なお、六月定例会で審議された議案などについては、次号でお知らせします。

加州立大学機構 大館校進出計画

昨年十月に米国カリフォルニア州立大学機構の一つであるコーストライン・コミュニティカレッジの大館校開校の打診がありました。今年の四月には、同大学の副学長が来市し、平成三年度末で廃校が見込まれている大館東高校や市の教育施設を視察しました。

カリフォルニア州のフオンテンバレイに本部を置くこの大学は、日本に六校の開校を予定し、その中の東北校として大館に開校したいという考えです。

今までの話し合いでは、「基本的に市は運営主体には参画しない」と言明していましたが、その後、具体的な経営内容など一部提案されたため、早急に生涯学

習など行政としてのかかわりなどを含めた調査検討を行い、一定の方向付けをしたいと考えています。高等教育機関の誘致は市民の夢でもあり、国際性豊かな都市づくりのためにも非常に魅力ある計画です。

しかし、現実問題として米国型コミュニティカレッジが日本で成り立つかどうか、経営に地元企業の参加が得られるかなど諸問題を抱えていますので、さらに協議検討し、慎重に対処していきたいと考えています。

大滝温泉蘇生事業

ふるさと創生大滝温泉蘇生事業の基本計画が、今年の三月に完成しました。この計画は、大滝温泉区域をミニリゾート化するもので、総概算事業費は約五十七億円、対象面積は約二十五

万平方メートルを見込んでいます。現在進めている第一期工事は、JR花輪線・大滝温泉駅の道路と国道103号線に囲まれた区域の東端に、ふるさと広場や人工滝、観覧場を建設し、入口にはカリヨン(音の鳴る木)を設置するもので、平成二年九月の完成を目指しています。

事業費、面積ともに大規模な計画で、事業主体や財源など、計画具体化には今後さらに検討、調整が必要になるため、去る五月二十六日に、現地大滝で市民参加による経過報告会を開催しました。市民のふるさと創生事業に対する関心は高く、大滝温泉の活性化への期待と永続的な市経済全般への波及効果の見通しなど活発な意見が出されました。

今後魅力ある温泉街の形成と環境づくりのため、慎重に対処していきたいと思えます。

稲の生育状況と
水田農業確立後期対策

今年の冬は、暖冬少雪で推移

稲の生育状況と 水田農業確立後期対策

今年の冬は、暖冬少雪で推移

したため、代掻き時の水不足や凍霜害が心配されることから、昨年に引き続き四月十一日に農作物異常気象対策協議会を設置しました。

稲の生育状況ですが、三月下旬から四月下旬にかけて気温が高かったことから苗代作業も順調に進み、播種も平年並みでした。田植え作業は、平年より二日早く始まりましたが、五月十八日の最盛期後に低温が続いた影響で、苗の活着や分けつがいくぶん遅れています。今後は、初期生育の促進と茎数確保のため、水管理の徹底や適正な除草剤の使用、追肥など基本技術を守るよう指導していきます。

また、水田農業確立後期対策ですが、昨年までの前期対策に比べ加算制度が重視されています。生産者の理解と生産者団体の協力により、転作実施計画も整い、六月十一日から現地確認を実施します。

その他の報告

- ▽平成二年国勢調査大館市実施本部設置
- ▽土曜閉庁実施
- ▽長走風穴高山植物群落盗掘事件
- ▽平成元年度各会計の決算見込み
- ▽大館市史編さん刊行完結

市長メモ



No.33

人の弱さ

今年もまた交通死亡事故が増えています。

現象からすれば、人を幸福にするはずの文明とは逆にその作用が多くなりました。これを避けたい事実とするならば、文明は人命に逆うということになるのではないのでしょうか。文明と人命を両立させなければなりません。アインシュタイン博士はそのことを予言しています。

歴史は、人間が欲望のままに行動してきた足跡ではないでしょうか。そして多くの経験の中から「自律」と「公律」という今日の社会となりました。

しかし、人間には欲望という本性があります。その本性が今の社会では一番の弱さになっていることに気づきましよう。衆をして金もうけをしようとする、反対に、その欲望を利用する相手の意図にまんまと「はまる」事実の多いことに。

人間やる気こそ、本性でしよう。しかし、本能のままに行動したら動物と同じではないでしょうか。

あつし